

## 第3回政府現地対策本部会議・第6回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月16日(土) 10:00～

場所 県庁新館10階 災害対策本部室

### 1 地震の状況

4月16日の1時25分に前のものよりも規模がより大きな地震が発生。

震度は6強だったが、その後、3時55分に震度6強(震源は阿蘇地方)。相次いで大きな地震が発生している状況。

### 2 被害の状況

死者15名。住家被害は現在調査中。

1時25分に発生した後の自衛隊への災害派遣要請の状況は、人命救助として阿蘇市、南阿蘇村、給水関係で菊陽町、甲佐町にお願いをしている。

国との協議等については、知事と総理大臣等とのテレビ会議、意見交換あるいは国への支援に関する要望等を行っている状況。

### 3 県等の対応状況

(総務部)

地震の影響で、県庁舎を開放し、避難者の受け入れを行っている。

本館ロビーに100人、地下大会議室に200人、新館ロビーに40人、また、県庁内の駐車場に車を止められている方を含め、合計440人以上の避難者を受け入れている状況。

県立大学の状況については、8時現在で400名の避難者受け入れを行っている。

私立高校については、避難所が足りないとの声を受け、体育館等の避難所としての開放をお願いしている。現時点で6校が受け入れを行っている。

(企画振興部)

交通関係については8時30分現在で、JR九州は県内全線運転見合わせ。

肥薩おれんじ鉄道は八代～高田間で運休している以外は運行中。

航空機については、空港ビルの被害が見られ、終日閉鎖が決定されている。

ただし、滑走路については使用可能となっている。

天草エアラインは、天草～福岡間は通常通り運航、阿蘇くまもと空港発着便は全便欠航。

(健康福祉部)

人的被害の状況については、資料のとおり。

基幹病院の状況については、救急の受け入れが不可、熊本赤十字病院については、電気、水、ガス等について支障があるとのことで救急の受け入れが難しい。

市民病院については、建物等も含め難しい。さくら病院についてもすでに一杯であるため難しいということになっている。これについては、DMATのほうで調整を行っている状況。

DMA Tの活動状況については、14日の災害発生後直ちに九州各県から参加いただき、現在夜を徹して対応をいただいている状況ではあるが、本日の状況を踏まえて中国、四国、関西のチームに対して要請を行っている状況。

市民病院の患者の転院・搬送についても現在出動中。

ドクターヘリについては、九州、山口、広島、愛媛、高知等について、ヘリの出動を要請中。

(環境生活部)

水道関係で、熊本市の全戸、32万戸が断水中。22箇所の給水地を給水車が巡回している。

環境省の災害廃棄物処理チームが熊本入りしており、益城町等の瓦礫処理等の技術的支援を行うということで、環境省のD.Waste-Net チームが熊本入りして巡回している。

(商工観光労働部)

水を協定先からできるかぎり集めようということで、県庁に送るよう交渉中。

水が約13万本、プラス若干の食糧、その後イオンに水10万本追加をお願いし、合計23万本確保の状況。

また、阿蘇の採石場で大規模な崩落があつているという報告を受けている。

(農林水産部)

農業用ため池ダムについて、大切畑ダム決壊の情報が流れたが、誤報だった。ため池の水位低下に向けて、国交省、農水省等と放流作業に取り掛かっている状況。

大規模な山地崩壊について、立野にある阿蘇大橋を落とした大規模斜面崩壊。

阿蘇市の外輪山の崖については、大規模な斜面崩壊が起こっており、下に人家がないか確認中。

震災に伴って農家被害が発生している。県内及び近隣県の多くの乳業工場が受け入れ停止しており、日量で最大680トンの生乳を処分せざるを得ない状態に陥っている。

(土木部)

全面通行止めが52箇所、片側通行止めが7箇所あり、支援物資の搬入等に御迷惑をおかけしている。

特に、阿蘇方面へ直接行ける国道57号が、あのような状況のため、かなり遠回りすれば行けるようになった。一番近い道路は、農林水産部が所管しているグリーンロードを通るルート。

応急危険度判定は、本日の地震を受け、なかなか実施がし辛い状況であるため、特別に支援を要請されたところに回っている。

(企業局)

所管の3ダムについては現在のところ異常なし。

(教育庁)

小中学校、県立学校すべて避難所として開設している。

一番心配しているのが、本日の夜から雨が降るとのことで、多くの方が避難所に来られているので、体育館に収容できずに運動場に収容している問題がある。

これに対しては、安全確保のため、近くの避難所を案内等している。  
他の問題として、仮設トイレの数が絶対的に不足しているので、仮設トイレの確保について配慮をお願いしたい。

(県警本部)

救出救助の関係では、これまで西日本の警察を中心に18府県、1,000人余りの応援をいただき救助活動にあたっている。また、南阿蘇については、自衛隊の応援をお願いしているところ。現在まで、140名の方々を救出・救助している。

今後は東日本の警察にも応援をお願いしているため、中部、あるいは関東の警察部隊も到着する。

パトカーについても、九州管区内の警察に派遣をお願いしている。今後は23台のパトカーが1ヶ月程度、パトロールを強化する

(西部ガス)

約10万5千戸を供給停止

(九州電力)

8時現在で18万個ほど停電している。

地域別の内訳については資料記載のとおりであるが、かなりの広範囲に及んでいる。復旧の見込みについては現在調査中。

原子力発電所の状況については、川内原子力発電所1号機、2号機ともに安定した運転を継続中。

玄海原子力発電所については全機停止中。それぞれプラントの状態監視及びパトロールを実施し、川内、玄海それぞれ異常は発見できていない。

(LPガス)

地域によってはボンベが倒壊しガスが漏れているところが見受けられるため、順次、LPガス販売店の方から応急処置を行ってもらっている状況。

#### 4 政府現地対策本部からの発言

(内閣府)

質問をよろしいか。

教育委員会の仮設トイレの件について、早急に国の方に要請を行う。今日の話であれば、若干時間がかかるかもしれないため、確保する方法を考えなければいけないが、県も県のルートを通じて要請できないか、災害救助法の担当課で検討できないか。

(健康福祉部)

簡易トイレについては、2万個を現在国の方にお願いしている状況。

また、毛布であるとか、物資をお願いしている。それについては、国と調整をして、どこに運んでもらうか、ルートをどうするか等を調整する。

(内閣府)

それは今日入ってくるのか。

(健康福祉部)

夜の10時に入ると聞いているが、2万個全部入るのかとか、どういうものが入るかということについては再度確認する。

(内閣府)

そうであれば、それに併せて周辺の県にも要請をした方が良いと思う。

(健康福祉部)

他県等にもお願いしているが、交通事情もあるため、いつ入るかということは現在確認中。

(内閣府)

避難所の関係で、全県的に避難所を開設していると思うが、もし、他の市町村で避難所をさらに開く余裕があれば、例えば、避難所にめいっぱい受け入れてしまって、非常に大変な状態になっている避難所もあるとテレビで報道されているが、もし、そういう状態にあれば、他の避難所に回していくという手もあると思う。各市町村で、余裕があるところに避難所を作ってもらって、そこで人を回していくと。そういうやり方をしても良いと思う。

(健康福祉部)

避難所についても、担当者をはり付けて、避難所の設置状況はどうかと、現状はどうかとか、どれくらいの物品が必要なのかとか、そういったことを現在調査中。

今お話を受けた件についても、今後検討していきたいと思う。

(内閣府)

市町村は責任感を持って、自分のところの住民は自分のところでどうにかしようと思っっているかもしれないが、今回は特別な対応が必要になると思うので、県が頑張つて、出て行って調整いただければと思う。

## 5 国等の対応状況

(消防庁)

本日1時25分に発生した地震の後から、非常にたくさんの災害が発生している。119番通報が取りきれないくらい発生し、その対応に追われた。

熊本市消防局でも対応し、緊急消防援助隊も今現在では約530隊2,000人が生き埋め等の災害対応にあたっている。

被害については、主に熊本市、益城町、阿蘇周辺に固まっている状況。特に阿蘇周辺については道路が分断されているところもあり、なかなか被災地に行き届かないため、今後はそういったところにしっかり対応していきたい。

こういった災害のため、自衛隊や警察との連携は非常に大事になってくる。連携するために、調整本部等を作り、これらの防災機関との連携を密にし、それぞれの活動に無駄がない、齟齬がないことを目指してしっかり連携している状況。

(自衛隊・第8師団)

現在活動しているのは、お手元の資料では約3,500となっているが、現在は8,100名となっている。

活動内容については、西部方面総監部から説明する。

(自衛隊・西部方面総監部)

人命救助については約630名、阿蘇地域250名、宇城地域約105名、益城地域約80名、嘉島約40名、菊陽町約150名をもって活動中。

また、生活関連支援については、給水、給食、入浴等を実施している。

併せて、海上自衛隊の状況については、呉に停泊している輸送艦「おおすみ」を八代に回航し、物資輸送準備を予定している。

また、病院機能移転に伴う患者移送に伴う支援については、現在、健軍駐屯地（熊本）についても断水等の被害がでている。経由地としては受け入れが難しいとのことであるため、福岡にある福岡病院への移送について調整中。

（警察庁）

他県からの派遣部隊は、中部、関東等管区等からの増援をすることになり、昨日の約1,100名体制から、約1,800名体制になると思われる。

また、制服警官の派遣もすることとなっており、防犯警備に努めたいと思っている。

（気象台）

本日の21時頃から雨が降りはじめ、一番強くなるのが明日の朝3時から6時の間、所によっては1時間に40ミリ程度の激しい雨を予想している。

昨日から揺れの強い地域で、土砂災害警戒情報の基準を下げて運用をしている。下げているということは警報が出やすくなるが、土砂災害が発生しやすくなっているといえる。厳重に警戒をお願いしたい。

地震については、今朝の1時25分に、14日の21時26分よりもマグニチュードが大きい地震が発生したことによって、本日1時25分の地震が本震で、その前の地震は前震という扱いになっている。本震の後、余震の回数は増えており、200回を超える震度1以上の地震が起こっている。1時以降、1時間に10回以上の震度1以上の地震が発生しているので、今後も、1週間程度は震度6弱程度の余震があるものと予想しているので気を付けていただきたい。

それから、本日8時30分に、阿蘇山が噴火したという情報が9時に出たが、火口上100mということで、火山灰が多少とんだという程度の噴火。大きな噴火につながるような兆候は見られていない。

（国土交通省）

河川については、白川について25箇所、緑川で47箇所、堤防のひび割れや法崩れが発生している。

雨が降るといことなので、シートをかけたり、セメントを注入したりして、雨が入りにくくなるような応急処置がほぼ完了している。さらに、巡視を強化することになっている。

道路状況について、土木部の資料にもあるとおり、九州自動車道については、植木インターから久木野インター間で通行止め。

緊急車両に限っては植木インターから益城熊本空港インターまでは、事前にNEXCOに連絡は必要だが、通行可。

（海上保安庁）

阿蘇の東海大学の生き埋めの関係で、海上保安庁のヘリ1機を東海大学のグラウンドに駐機させ、負傷者等の搬送等に備えている。

（国土地理院）

国土地理院では、災害状況の早期把握のため、空中写真の撮影を行っている。

本日朝から撮影をしており、撮影しているのは菊池地区、熊本地区、宇城地区、西原地区、阿蘇地区の5地区。

これとは別に、ドローンを使って低高度の詳細な被災状況の調査を南阿蘇村に職員を派遣して行っている。

撮影した結果については、準備が整ったものから順次国土地理院のホームページにアップしていく。最も早いものは本日の夕方から公開ができると考えている。

## 6 政府現地対策本部長の発言

(松本副大臣)

お疲れ様でございます。眠れない夜を2回過ごした。そして、今日の夜は雨が予定されている。厳しい状況が続くことを実感している。皆様方には是非認識を新たにさせていただきたい。7. 3というマグニチュードの地震は、我が国の歴史に残る、最も大きい地震のひとつ。

したがって、被害も昨日までの状況とは全く違う。また、復興・復旧に向けた長い道のりが始まる。

まず、覚悟をもっていただきたい。そのうえで、今日からの3日間、初動体制をどう構築していくか。これが1か月後、2か月後、1年後に大きく影響してくる。そういう思いを持って取り組んでいただくようお願いする。

その上で、3日間寝ずに働く判断が鈍ってくる。是非、それぞれのセクションで交代をしてきちんと、頭がはっきりする程度の睡眠は十分にとっていただきたい。

また、食事、これが十分でないように見受けられる。

街に行っても、どこにも商品が置いてない状況。食べられるものは食べられる時に食べて、取れる休憩はしっかり取って、任務に邁進いただきたい。

今日やるべきことはとにかく人命を救うこと。

それをするために、道路対策は急いでいただきたい。

国土交通省には特にお願いします。

それぞれのセクションが力の限りを尽くしている。お互いに気持ちを開いて、相談をしながらできることは全部やるんだ、そういう思いで取り組んでいきたいと思う。

## 7 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

一昨日14日の震度7に続いて、本日、震度6強の地震が相次いで発生し、県内各地で、非常に大きな被害が発生している。

県警の情報によると、一昨日からの地震により、現時点で15名の尊い人命が失われている。現在も、まだ行方不明者がおられ、救出に全力を上げているところ。

引き続き人命救助を最優先に、全力を尽くしていただきたい。

また、14日の地震発生から30時間以上が経過し、また、度重なる地震により、被災者の方々の不安はますます大きくなっていることと思う。被災者の支援にも全力を尽くしていただきたい。

なお、今後も大きな余震を警戒する必要があるとあり、加えて、本日夕方には、雨も予想さ

れる。そのため、土砂災害危険区域など危険な地域にお住まいの皆さんは、出来る限り安全な場所に避難していただきたい。

引き続き、行政・民間、さらには国・地方の垣根を越えて、ここに参集していただいている皆さん、さらには県民の皆さんと一丸となってこの未曾有の危機を乗り越えていきましょう。

宜しく申し上げます。

(以 上)